



災害時に地域で支える ボランティアセンターを体験！



～これまでの災害ボランティア活動に学ぶ 今私たちに必要なこと～

被災者に「寄り添う」という視点を大切に

2/26(金)に能美町の中町公民館で「広島県被災者生活サポートボランティアコーディネーター養成研修」が開催されました。講師に日野ボラネットの山下弘彦さんを迎え、近年多発する大規模災害発生時におけるボランティアの必要性や役割から、そのボランティアと被災者をつなぐ「災害ボランティアセンター」の運営について、山下さんの実体験等を踏まえながら貴重なお話を聞くことができました。

また、後半に実施されたシミュレーションにおいては、混乱する現場では「誰のため、何のための災害ボランティアセンターなのか？」という部分が忘れがちになってしまうことを実感させられました。一番大切なことは「目の前の被災者に寄り添うこと！」。忘れないようにしたいです。



江田島市内だけでなく広島県内各地から総勢87名の方にご参加いただきました。

災害時のボランティアセンター運営をシミュレーション！



まず、「ボランティア役」「住民役」「センター運営役」と配役を決めてシミュレーションスタート！

ボランティア受付



・ここでボランティアさんを受け付けます。「希望する活動」「資格」なども聞き取ります

送り出し



・ボランティアさんを「活動場所」へ送り出します。機材の貸出しや活動時の注意事項などを伝えたりします。

ニーズ受付



・住民からの依頼を受け付けます。被災者の声に耳を傾け、気持ちを汲み取る姿勢が大切です

マッチング



・「住民からの依頼」と「ボランティア」を結びつけます。「活動内容」「人数」「場所」「時間」など様々な要素の調整が必要です。



最後にみんなでシミュレーションの振り返りをして終了です。

ふれあい・いきいきサロン情報

～地域の憩いの場 楽しい仲間の集まり～



「ふれあいサロン」は、いつでもどこでもおたがいさまの気持ちで、地域みんなが心をつないでいけるところ。

地域を大切に思う心、人を大切に思う心がみんなを元気にしていきます。

そこからまた“おたがいさまの心”が生まれ、さまたあいの輪が広がっていきます。

下井田サロン

(能美町高田 高田公民館)

みんなで役割分担！



大勢で食べる食事は美味しいですね！

このサロンでは「座布団を並べる係り」「配膳係り」「ちらし寿司に飾りつけをする係り」「料理をする係り」「飲み物をもって来る係り」などなど、参加されるみなさんが自然にそれぞれの役をもってらっしゃいます。そこに「サロン」は「みんなのもの」という気持ちが込められているように感じました。

ふれあいいきいきサロンが目指すひとつのカタチ「誰もが、気兼ねなく参加できるサロン」。その答えはここにあるのではないのでしょうか？



すごい ごちそう！



家事の大ベテランが集結（笑）

椿の会

(大柿町柿浦 老人集会所)

愉快爽快！！



たまにはトランプも“おっ”なものです

楽しみにしていたサロンなのに、なんと外は季節はずれのみぞれ！先に会場に来ていた世話人グループさん達は「今日は、足元が悪いから誰も来れなかね～？」と、不安そうに外を眺めていました。

ただ待っているのも退屈なのでトランプをしていると、1人、2人・・・と人が集まってきて、段々と賑やかになってきました！

「腹ごしらえしたら、輪投げやるよ！」「景品もあるからがんばって！！」と、一息ついたところで輪投げゲームのスタートです。高得点が入るように“祈りの舞”（笑）をささげたり、投げ方を工夫してみたりと大盛り上がり。

外は寒々と雪やみぞれが降っていましたが、対照的にサロン会場は笑いがいっぱいでもっとも暖かでした。



一投、一投に熱い視線が！



ちゃっかり賞品ゲット（スイマセン・・・）

こんにちは



江田島市障害者生活支援センター からのお知らせで～す！



「ハッピーちゃん」

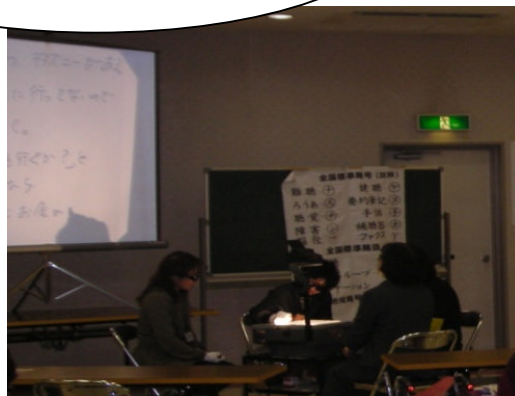
社会生活力を高める講座 講演会を終えて

3月13日(土)に愛知淑徳大学より谷口明広先生をお招きして先生の経験を通じて、自立して生きるという事はどういうことか講演会を開催しました。御自身も身体障害者である先生の経験を通じて自立とは、自分らしく生きるとはをユーモアの中にも真髓をつくお話を聞きました。多くの方に聴いていただきたいお話でした。少しご紹介します。

『自立とは、自分で自分の人生を思うように「わがままに」決める。だって、他人は自分が思うようにはきっちりできない。…だから、私の人生は楽しいでっせ～。』『親子関係…親が良かれと思ってやっている事が本当に子どもにとって良いのか？ 昔、パーマかけたかったのに、床屋に行ってお願ひすると、お店の人は母親に確認して、母親は却下した。本人の気持ちって…。大人になってパーマかけましたよ(笑)』これを機会に、障害のある方の生活について考えるきっかけとなったのではと思います。



自分の人生思うように
わがままにっ！
私の人生楽しいでっせ～！



また、今回の講演会には「**要約筆記**」をお願いしました。
要約筆記は御存じですか？

要約筆記(ようやくひっき)とは、[聴覚障害者](#)(とりわけ[中途失聴者](#)など、第1言語を手話としない方向け)への[情報保障](#)手段の一つで、話している内容を[要約](#)し、文字として伝えることをいいます。



3月の障害者生活支援センター予定表

日 時	行 事	開催場所
10日(土)10時～15時	ぴあサポートサロン	ゆうゆう(自立支援センターあおぞら)

※参加を希望される方や、お問い合わせは下記までご連絡下さい。

江田島市障害者生活支援センター

737-2295 江田島市大柿町大原505 (江田島市役所大柿分庁舎2階)

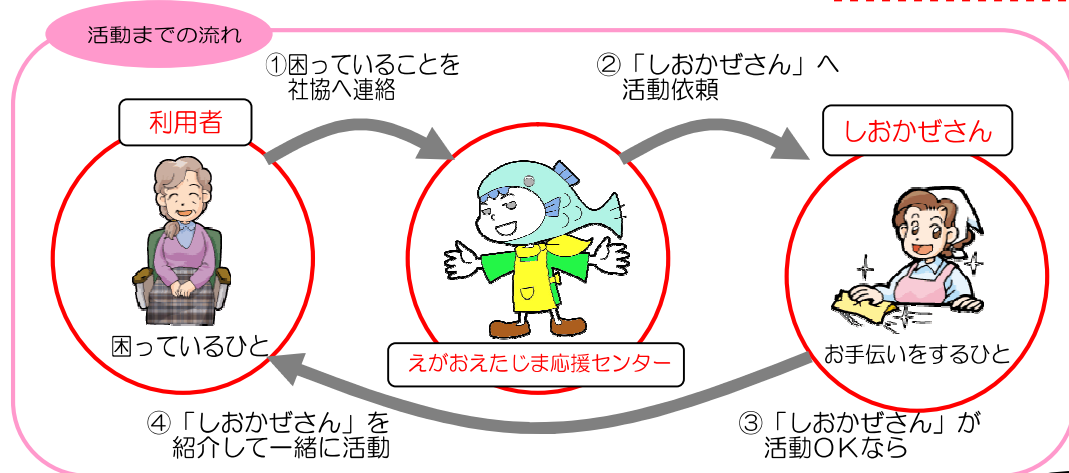
電話 57-2215 ファックス 40-3573

E-mail: etajimasien@iris.ocn.ne.jp

ご存知ですか？「しおかぜ"ネット"」

しおかぜ"ネット"とは？

日常生活の「ちょっとした困りごと」を、えがおえたじま応援センターに登録した協力者（しおかぜさん）に手伝ってもらって、一緒に解決していこうという活動です。



利用料・活動費

利用者は

利用料＝300円（1時間）

＋

広島県社協と広島県共同募金会から支援金＝300円

＝

活動費＝600円（1時間）

しおかぜさんには

※この有償の仕組みは、お互いが気兼ねのない活動になるようにと設けられています。基本はあくまでボランティア活動で、安い賃金で利用できる「何でも屋」ではありません。

「利用してみたい」「活動してみたい」という方は（40-2501）までお問合せください。

皆さまからの声をお待ちしています

「えがおえたじま応援センター」では、住民の皆様の声をお待ちしています。

「ボランティア活動してみたい」

「サロンについて質問してみたい」

「こんな活動あったらいいな」

「私たちはこんな活動をしています」

などなど、地域の福祉活動に関することならなんでもOK！

お気軽に、「江田島市社会福祉協議会 地域福祉課」

（電話 40-2501）までご連絡ください。



4月 心配ごと相談所 ご案内

《 開設時間 午後1時～3時30分 》

相談員の皆さんが、日常生活の悩みごとや心配ごとの相談に応じて解決に努めます。問題によっては関係機関の紹介もします。相談所は市内のどこでもご自由にご利用出来ます。

江田島町		能美町		沖美町		大柿町		全体相談会場	
22(木)	江田島公民館	1(木)	江田島市 農村環境改善センター	17(土)	江田島市役所 三高支所	8(木)	大柿 老人福祉センター	15(木)	江田島市 農村環境改善センター

江田島市社会福祉協議会 えがお えたじま 応援センター

〒737-2302

広島県江田島市能美町鹿川2060番地（能美福祉センター内）

電話（0823）40-2501 fax（0823）40-2502

携帯番号（090）5700-6170（地域福祉係）

